

# 人権だより

(令和2年度1月号)

川之石高校人権委員会 担当 2年次3組

新しい年が始まり、少しずつ日が長くなっているような気がします。3年次生は、年度末考査、2月は家庭学習期間となり学校は少し寂しくなりますが、1、2年次生も来年度に向けての切り替えの時期と思って、頑張っていきましょう。

今月は、3年次中心の内容です。

## 【今月の見どころ】

### 1 デートDV防止出前講座報告 — 3年次 人権・同和教育ホームルーム活動—

#### 1 デートDV防止出前講座の報告

1月15日（金）の第6時限は、3年次の人権・同和教育ホームルーム活動として、大洲人権擁護委員協議会八幡浜部会から3名の人権擁護委員の方に来ていただき、デートDV防止に関する指導をしていただきました。デートDVとは何か・デートDVの事例やその解決方法のDVD視聴に合わせて、人権を守る大切さなどのお話がありました。今年、タブレット102教室と3年次の各ホームルーム教室とをリモート形式で実施しました。意見交換では人権委員が質問し、人権擁護委員の山内さんにお答えいただきました。

[ホームルーム教室の様子]



[タブレット102教室の様子]



代表してお礼を言う元人権委員長

【アンケートについて】

ア 内容：「デートDV」について知っていましたか？

選 択 肢		割合(%)
①	まったく知らなかった	24
②	言葉は知っていたが、内容は知らなかった	56
③	言葉も内容も知っていた	16
	無答	4

イ アの内容の回答別の感想（抜粋）

【① まったく知らなかった】

デートDVについて全く知りませんでした。もし今後、相談された時には、相手の話をしっかり聞き、信頼できる家族や先生に相談を勧めたいです。人それぞれ価値観が違い、話が食い違うことがあったとしても、自分の意見だけを一方的に伝えることなく、相手の意見も聞き、よりよい人間関係を築いていきたいです。デートDVの被害者にも加害者にもならないために、正しい知識を持ち、相手をバカにするような発言や行動をやめたいです。友だちを大切にし、一人で悩まないようにしたいです。

【② 言葉は知っていたが、内容は知らなかった】

私はデートDVについてあまりよく知りませんでした。デートDVは束縛なども含まれるのだと思いました。私は友人に相談された時にはいつも「経験したことないのでよく分からない」と答えていました。もしかしたら相談してくれた子を否定して傷つけてしまっていたかもしれません。今後相談された時には、相手を否定せず、気持ちに寄り添い、理解してあげられるような人になりたいです。そして「専門の機関やカウンセラー、保護者に相談してみるといいよ」とアドバイスすることが大切だと分かりました。デートDVは相手を大切にしたい気持ちがいきすぎて発生しまうものでもあるので、加害者と被害者の双方が理解し合って解決できるようなアドバイスをすることも大切だと思いました。

【③ 言葉も内容も知っていた】

今日、視聴したDVDを、被害者の立場で観ましたが、実際に自分の身に起きたら、DVDに出てきた人のように友人に相談すると思います。相手も自分も両方の意見が必ずしも同じものであるとは限りません。意見が対立した場合に、どちらの意見も反映させるためには、話し合いを通して互いを理解することが重要だと、このDVDを観て学びました。また、相談される立場では、相手の意見をよく聞き、自分の意見を押しつけないようにしたいです。困ったときには、周囲の信頼できる大人や関係機関に相談することが、その解決方法であることもわかりました。デートDVは「しない・させない」の心がけが重要だと思います。普段からその意識を持ち、自分が加害者にも被害者にもならないように心がけたいです。

人権委員からの質問の1つ「デートDVが問題視されるようになったのはいつごろで、そのきっかけは何か」に対する、人権擁護委員の山内さんからの回答です。

DV被害が目されるようになったのが、今から18年くらい前の平成15年ごろで3年次生がちょうど生まれた頃になります。その後、改正DV防止法の制定で、被害者の保護を法律で規制しますが、DV件数は減らず、増加傾向です。

(昨年はDV相談が過去最多13万2,355件。その前の年に比べ、13,000件も増加)  
このようなDVやそれによる被害者(死者)を少しでも減らすために、若年者に「デートDV防止」を呼びかけています。

【今月の係から】デートDVという言葉は知っていましたが、内容までは知らなかったので調べると「結婚前の恋人間の暴力のこと」とありました。上に載っている3年次の感想を読むととても勉強になりました。また、高校の時期に知っておくことが、将来的にDV被害を減らすことにつながるのので、人権擁護委員の方が出前講座をしていただく理由がわかりました。来月は、1・2年次も人権・同和教育ホームルーム活動があります。各年次のテーマに沿って学び、理解を深めることが、日々の様々な生活の中で活かせると思います。正しく知り、知識を増やして自信を持って話をしたり、行動したりできるようになりたいです。